

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	廃棄物処理計画策定事務事業			事業コード	0259
担当課等	所属名	環境部 廃棄物対策課		担当係名	
	課長名	千葉 良高	担当者名	小野 哲治	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	環境との共生	コード 6	施策	生活環境の保全	コード 1
	基本事業	環境衛生の確保	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 4款 2項 1目 総務事務(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 平成2年度～)					
事務事業の概要	市町村は、区域内の一般廃棄物の適正な処理を確保するため、一般廃棄物の発生量及び処理量の見込み、排出の抑制のための方策に関する事項等を一般廃棄物処理計画に定めることとしている。計画は、基本的な事項について定める基本計画と、基本計画の実施のために必要な各年度の事業について定める実施計画とに分けて策定しなければならない。基本計画については、目標年次を10年から15年先において、概ね5年ごとに改定し、実施計画については毎年策定している					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条、同法施行規則第1条の3、盛岡市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第6条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
廃棄物の処理及び清掃に関する法律で、一般廃棄物処理計画を策定しなければならないこととされている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市民、議会及び盛岡市廃棄物対策審議会から、廃棄物の減量及び資源化について一層推進すべきと提言されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
平成12年に制定された循環型社会形成推進基本法において拡大生産者責任を含めた国、地方自治体、国民の役割が示されたことや、中央環境審議会において、ごみ処理の有料化についての提言がなされたことなど、廃棄物処理についての考え方が大きく転換しており、今後は、これらに対応した計画を検討していく必要がある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民、事業者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 人口	単位	人
				B. 事業所数(総務省「事業所・企業統計調査報告」)	単位	所
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ①一般廃棄物処理実施計画の策定 ②廃棄物対策審議会の開催 ③清掃事業概要の作成 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ①一般廃棄物処理基本計画の策定 ②一般廃棄物処理実施計画の策定 ③廃棄物対策審議会の開催 ④清掃事業概要の作成	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 廃棄物対策審議会の開催回数	単位	回
				B. 廃棄物対策審議会における出席延べ人数	単位	人
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	市民や事業者が排出する一般廃棄物の減量と資源化に対する意識を高めてもらう。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. ごみ排出量(清掃施設への搬入量) 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input checked="" type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	t
				B. リサイクル率:(資源化量+資源集団回収量)÷(総排出量+資源集団回収量) 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	%
				C. 1人1日当たりのごみ排出量 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input checked="" type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	g
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	環境衛生が守られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	焼却処理施設での年間処理量(単位:t) 資源ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 粗大ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 生活公害に関する苦情件数(単位:件) 市営墓園利用率(市営墓園使用区画数÷市営墓園墓地数)(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	人口	人	298,526	298,060	297,582	297,866	297,405	296,960	28年度 295,180
対象 指標B	事業所数(総務省「事業所・企業統計調査報告」)	所	15,757	15,757	15,757	15,757	15,757	15,757	28年度 15,757
対象 指標C									年度
活動 指標A	廃棄物対策審議会の開催回数	回	2	2	3	2	4	3	28年度 4
活動 指標B	廃棄物対策審議会における出席延べ人数	人	31	31	60	30	80	60	28年度 80
活動 指標C									年度
成果 指標A	ごみ排出量(清掃施設への搬入量)	t	115,184	112,569	111,254	111,137	108,330	108,213	28年度 107,746
成果 指標B	リサイクル率:(資源化量+資源集団回収量)÷(総排出量+資源 集団回収量)	%	17.0	16.6	18.7	17.7	18.8	20.0	28年度 25.0
成果 指標C	1人1日当たりのごみ排出量	g	1,057	1,035	1,024	1,022	998	998	28年度 1,000

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	617	405	592	354	4,967	604	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	617	405	592	354	4,967	604	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	617	405	592	354	4,967	604	*****
	延べ業務時間数	時間	600	700	700	700	800	700	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	2,400	2,800	2,800	2,800	3,200	2,800	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,017	3,205	3,392	3,154	8,167	3,404	*****



3. 事務事業の評価(See)

有効性評価	①成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない
	その内容:一般廃棄物処理基本計画及び一般廃棄物処理実施計画に基づき、市民、事業者、市が一体となって取り組むことにより、ごみ排出量の削減やリサイクル率の向上等がより一層図られる	
効率性評価	②事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない
	理由:平成23年度は、長期計画である盛岡市一般廃棄物処理基本計画の5年に1回の改定年度であり、計画策定に係る委託料が生じる。また、現状においても計画策定に係る経費を最小限にしていることからこれ以上の削減余地はない。	
	③人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない
理由:計画の策定に必要な最小限の時間数であり、削減は見込まれない。		

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 計画の目標や施策について、市民、事業者に対する一層の周知に努め、計画目標の達成を目指すことにより環境衛生の確保を図る。
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 特になし

5. 課長意見

一次評価	(1)評価結果 ① 有効性 : <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 見直し余地あり ② 効率性 : <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 見直し余地あり	 <p>(2)全体総括(振り返り, 反省点) 平成28年度を目標とした「盛岡市一般廃棄物処理基本計画」に基づいて平成22年度の実施計画を策定し、成果を振り返りながら廃棄物処理施策を進めるとともに、現基本計画の目標数値の見直し作業を開始した。</p>
	(3)今後の事務の方向性(改革改善案)	
今後の方向性と改革改善案	<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	 <p>方向付けの理由と改革改善の内容 平成28年度を目標とした「盛岡市一般廃棄物処理基本計画」に基づいて各年度ごとの実施計画を策定する必要があり、今後も継続して毎年度の成果を振り返りながら廃棄物処理施策(ごみ排出量の削減やリサイクル率の向上等の施策)を進めて行かなければならない。また、平成23年度は5年毎の基本計画の見直し年となっていることから、新たな目標値等を設定するなど、新たな基本計画を策定し、一般廃棄物の適正な処理の推進施策を展開していく必要がある。</p>